

日本ユニシス株式会社

2011年3月期1Q決算説明会（2010年7月29日開催）

## 主な質疑応答

（ご理解いただきやすいよう表現を変更している箇所があります。）

**Q: 売上について、10.3期の4Qと比較して現在は改善しているのか？定性的な表現になると思うが、方向感を教えてほしい。**

A: 特に10.3期の4Qにおいて製造業は大きく落ちたが、持ち直してきており、特に自動車関連で受注がいくつか入っている。4Qと比較すると製造業は明るい兆しがある。

**Q: ストック型の受注が大幅に増えたということだが、動きについて内容を教えてほしい。**

A: 1Qの受注実績は、フロー方が49.8%、ストック型が50.2%で、半分強がストック型である。特に金融のアウトソーシング案件の大幅計上により増加した。なお、フロー型についても、ハードウェア、ソフトウェアの受注に改善がみられる。

**Q: マーケット別にみて、改善しているところ、回復が見られないところを教えてください。**

A: マーケット別にみると、前年同期比では、金融が前述の大型案件の計上のため大幅増にあるが、官公庁、商業・流通、電力・サービスも同様に前年同期比では増加傾向にある。一方で、製造業は減少傾向にある。

**Q: ハードウェア及びソフトウェアの受注が増加傾向だが、これはオープンかメインフレームかを教えてほしい。**

A: オープン系のハードウェアとソフトウェアが増えている。

**Q: 1Qのハードウェア及びソフトウェアの受注が前年比プラスで、売上高はマイナスだが、特別な案件なのか、それとも御社では、タイムラグが出る傾向にあるのか、そのところを教えてください。**

A: 1Qの受注は6月に受注した分が多いため、短納期ではあるが、売上は2Qの計上となる。

**Q: アウトソーシングの1Qの大幅受注増加の要因は、金融の大型案件の計上ということだったが、一年以内計上予定の受注残も増えている要因を教えてください。**

A: 一年以内のアウトソーシングの計上予定は、地銀の稼働行増加に加え、クラウド型ICT新ビジネスの売上・受注増加など、様々なアウトソーシングの案件が含まれている。

**Q：S-BITSの収益について前年対比で2億円改善されている話があったが、今期の通期計画ではそこまで良くなるという前提ではなかったと思う。当初計画を上回って改善していると認識してよいのか？**

**A：**10.3期末で公表した際は、トントンと申し上げたが、改善したと言っても実はまだ赤字である。現在、運営費、運用管理費等の改善を継続して進めており、月次でまず利益が出る体質になるよう徹底して行っている。

**Q：ICTサービスの新ビジネスについて、売上および受注は若干伸びつつあるが、人も拡充されているということなので、1Q実績と見通しについて教えていただきたい。**

**A：**1Qの売上総利益は-1.7億円だが、今期から会計処理の変更により1Qで開発費に計上された分が-4.2億円あることを勘案し、前期と同じ基準にすると、-5.9億円となる。前期1Qの売上総利益は-3.3億円であった。ICTサービスの新ビジネスについては、比較的早い時期に単年度黒字化できるようにと考えている。

**Q：不採算案件について、10.3期は4Qで急に発生したが、1Qの状況を教えて欲しい。**

**A：**10.3期に引き当てを行った難易度の高い案件については、その案件が1Q時点でもやや悪化することを見込み、それを含めて、連結ベースで1Qに3.4億円の損失を計上した。この案件の稼働は3Qを予定しており、リスクはあるものの十分な対策も打っているため、2Q以降には、ほとんど影響が出ないものと考えている。

(注)本資料で記述しております業績見通し等の予測数値は、現時点での入手可能な情報による判断および仮定に基づき算定しており、リスクや不確定要素の変動および経済情勢等の変化により、実際の業績は、本資料における見通しと大きく異なる可能性があることをご承知おきください。また、本資料は投資判断のご参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。